

今回3月3日から17日までにかけて参加させていただいたストラスブール研修では多くの経験を積むことができたと思う。その中でも私自身が獲得できたといえることを上げていきたいと思う。

まず一つ目は現地の文化、食文化、習慣を理解する。ということができたと感じる。二週間の間できるだけ現地の生活と同じような生活になるように意識した。日本から食べ物などは持っていかず、できるだけ現地調達を心掛けた。そのおかげで日本ではあまり見かけない生の肉であるタルタルステーキや牛肉のワイン煮込みなどの料理を堪能することができた。また日曜日に行われたフランスの家庭訪問においてはフランスの休日を実際に体験できたと感じた。私が訪問した家庭は日本人の奥さんとフランス人の旦那さんとの夫妻が暮らしている家庭だった。訪問先の夫妻によると、フランスの一般家庭は昼ご飯をととても長くとりらしい、私が実際に過ごさせてもらった内容は午前11時から食前酒のスパークリングワインを夫妻が飲み、食前の軽食をとり始めた。その後正午くらいになるとパスタや肉などの豪華な料理が振舞われ、そこでさらに夫妻は赤ワインを堪能していた。楽しく会話をしながら、飲んだり食べたりを楽しんでいると、時間はもう午後2時を回っていた。食事の量もさることながら夫妻は次々にワインやビールを開けていたのでとてもわたしは驚いた。夫妻によると旦那さんのボルドーにある実家に行くとき昼前から3時くらいまで飲むのが習慣らしく、日本にはない文化を体験することができた。またその後は6 nations という国別のラグビーの対抗戦をテレビで観戦した。フランスで人気なスポーツと言えばサッカー、自転車、テニスなどはイメージしやすいもののラグビーは意外だったので尋ねると、フランス南部ではラグビーが人気だという新たなスポーツ文化の知見を獲得することができた。このように出発前の目標にもしていた、現地の文化、習慣を実際に体験するといったことができたと思う。

その次に二つ目に挙げられることはフランスのスポーツ文化における知見を得られたということである。主に私が好きなサッカーとサイクルロードレースについて現地の関心度を実際に聞くことができた。サッカーはやはり自分の出身の地域のチームを応援することが多いようであった。また日本でも有名なパリサンジェルマンや日本人選手の酒井宏樹選手が在籍するマルセイユなどは比較的金銭的に裕福であるビッグクラブであり、日本のプロ野球球団で言う巨人のようにアンチの多いクラブであることがわかり、実際にストラスブールの人やボルドー出身の人はしっかりと嫌いだと言っていた。また印象的であったのがサッカーショップへ行った際にマンチェスターユナイテッドの今シーズンのアウェーユニフォームだけが30%オフになっていたことである。これはその二日前にパリサンジェルマンがイングランドのチームであるマンチェスターユナイテッドに大逆転負けをしたことが関係あるのかもしれないと思った。

またサイクルロードレースではツールドフランスの人気は強いものだと感じた。世界的なビッグスポーツイベントであると同時にフランス中を旅してレースをするため、何年かに一回は自分たちの地域を通ることもあるようで、フランス人なら一回は絶対に見に行ったことがあるだろう、とある現地の人はおっしゃっていた。私の滞在中に行われていたパリ-ニースというレースについて人々が話題にしているところは目にしなかったが、テレビをつけてみるとスポーツニュースでレースの結果などを報じているところをしばしば見かけた。サイクルロードレースのニュースがやっているところは日本では見かけることがほとんどと聞いていいほどないので、目新しさ、本場らしさを感じた。また本場らしさといった

点で述べると、ストラスブールには数多くの自転車が走っていて、日本の数倍は自転車が走っているような感覚であった。

さらに日本ではほとんど目にしないといってもいいようなペタンクというスポーツがテレビで放送されていたことも知る事ができ、名前しか知らないような新しいスポーツを見ることもできた。

このように自分がもともと好きだったスポーツについての現地の関心を得られるだけでなく今までに知らなかった新たなスポーツ文化についても知る事ができ、よい経験になったと思う。

最後に一番今回の研修で得られたものが大きいと感じたことについて述べたいと思う。それは異文化間、異なった言語話者間でのコミュニケーションをとるという経験ができたと思う。現地の日本語学科のみなさんとの交流の際に最初は何を話せばいいのかわからず戸惑うことが多かった、しかし何とかフランス語、英語、日本語を場面に合わせて使いこなすことによって、最終的にはプログラム以外のプライベートの時間でも交流をするほど関係を深めることができた。現地の学生と関係を深めることができたおかげで、現地のホームパーティーの習慣を知ることができたり、フランス語のスラングなどを知ることができたり、学校では経験できないことも経験することができた。

フランスの家庭訪問では奥さんは日本人だったが、旦那さんは日本語がほとんどわからない方だったので、最初はコミュニケーションをとることに躊躇してしまったが、次第に質問攻めになってしまったかもしれないが、コミュニケーションをとることができ、最後には自身の応援しているサッカーチームや嫌いなチームなどで熱く語り合うほど、仲良く会話することができたのはよい経験になった。こうしてコミュニケーションをとることにより、スポーツ文化を知ることもできた。

このようにとにかく頑張ってみることで、新たな発見や知識を得ることができた。この経験はこれから様々な人種、言語、文化を持つ人とコミュニケーションをとる自身につながるだろうと感じた。

このように私は自身が課題にも設定した3つのことを獲得でき非常に満足できる2週間の研修生活を送ることができたと思う。この経験をこれからの大学生活だけではなく長い人生で活かしていけると今回の研修の意義もより大きいものとなってくると思うので、この研修の成果を今後活かす。ということこれからこの人生の目標に設定していきたいと感じた。